佐渡市立金井中学校　令和３年１月29日　No.10

金井中だより

〒952-1208　新潟県佐渡市金井新保乙40番地
TEL 0259-63-4107　http://kanai-js.sado.ed.jp/

《本号の内容》

１面　巻頭言
２面　学校評価の結果
３面　アンケートの結果
４面　オープンスクール
　　体育館の使い方

小学生でも答えられる大学入試問題

校長　香遠　正浩

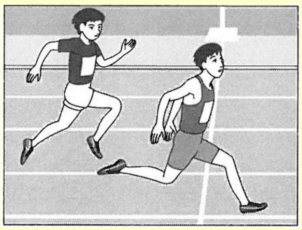
大学入試センター試験の後継として初めて実施された大学入学共通テスト翌日の新聞に、「知識を覚えることを中心にしたこれまでの日本の教育を受けてきた人には、正直つらいテストになったでしょう」というコメントが載っていました。共通テストは思考力や資料の活用力を問うことを重視することになったからです。

例えば、数学Ⅰ・数学Ａでは次のような問題（一部抜粋）が出ました。

陸上競技の短距離走100ｍ走では、100ｍを走るのにかかる時間（以下、タイムと呼ぶ）は、１歩あたりの進む距離（以下、ストライドと呼ぶ）と１秒あたりの歩数（以下、ピッチと呼ぶ）に関係がある。ストライドとピッチはそれぞれ以下の式で与えられている。

$$\text{ストライド（m／歩）} = \frac{100\text{（m）}}{100\text{mを走るのにかかった歩数（歩）}}$$

$$\text{ピッチ（歩／秒）} = \frac{100\text{mを走るのにかかった歩数（歩）}}{\text{タイム（秒）}}$$



ただし、～中略～

例えば、タイムが10.81で、そのときの歩数が48.5であったとき、ストライドは $\frac{100}{48.5}$ より2.06、ピッチは $\frac{48.5}{10.81}$ より4.49である。

ストライドを x、ピッチを z とおく。ピッチは１秒あたりの歩数、ストライドは１歩あたりの進む距離なので、１秒あたりの進む距離すなわち平均速度は、x と z を用いて $\boxed{ア}$（m／秒）と表される。

これにより、タイムと、ストライド、ピッチとの関係は、タイム＝ $\frac{100}{\boxed{ア}}$ と表されるので、$\boxed{ア}$ が最大になるときにタイムが最もよくなる。ただし、タイムがよくなるとは、タイムの値が小さくなることである。

【アの解答】 x z

新聞には「センター試験よりも難しい傾向」というコメントもありました。上の問題も具体的な場面を取り上げ、説明も多いため、一見難しそうに思えます。

しかし、$\boxed{ア}$ の速さという内容は小学校高学年で学ぶ「単位量あたりの考え」なので、高校生でなくても答えられる問題です。

速さ＝道のり÷時間という「知識」や四則計算の「技能」だけでなく、ストライドとピッチから速さやタイムを予測するにはどうすればよいのかと考え、その考え方を解決に用いる「思考力」の育成が求められています。スマホを使えば指１本で情報が得られる新しい時代においても、自分の頭で考えることは大切です。

2学期末の学校評価

今年度重点として取り組んでいる学校評価目標の２学期末の時点での状況は以下のとおりです。

【知育】

①Web診断問題の学年正答率が県平均以上となる。

Ａ基準：７割以上の教科　　Ｂ基準：６割以上の教科

→**評価：Ｃ**（４／９教科＝44%）

新型コロナウイルスの影響でWeb診断問題が中止となったため、昨年の問題を用いて実施しました。昨年の県平均と比較したものですが、満たなかった５教科の内３教科は県平均との差が１学期より縮まりました。

②家庭学習時間調査で学年目標時間を超える。

Ａ基準：７割以上の生徒　　Ｂ基準：６割以上の生徒

→**評価：Ａ**（73%）

これは２学期に実施した２回の調査の平均値です。定期テスト前の２週間では93%の生徒が、テスト期間ではない普段の２週間では53%の生徒が目標時間を超えていました。今後も家庭学習習慣を継続できるように、メディアコントロールと併せて継続指導していきます。

【徳育】

③いじめのない明るく楽しい学校生活を送らせる。

Ａ基準：生徒も保護者も９割以上が「学校が楽しい」と回答

Ｂ基準：生徒も保護者も８割以上が「学校が楽しい」と回答

→**評価：Ｂ**（生徒91%、保護者85%）

２学期はいじめ見逃しゼロの取組や人権教育の活動を中核に、いじめのない明るく楽しい学校生活を目指してきました。その結果、生徒アンケートの数値は１学期の86%から91%に向上しました。これに満足することなく、全員が楽しいと感じられる学校を目指します。

④互いを認め合い、高め合う集団をつくる。

Ａ基準：他者との関わりに関する３項目（⑦、⑧、⑨）の肯定的評価が９割以上

Ｂ基準：３項目の肯定的評価が８割以上

→**評価：Ａ**（94%）

今年度より始めたローテーション道徳をはじめとして、学年部全職員で生徒一人一人の社会性・道徳性の向上を目指して指導してきました。その結果、どの項目も９割を超える生徒が肯定的な評価をしています。ローテーション道徳は、生徒理解や対応にも役立っています。

【体育】

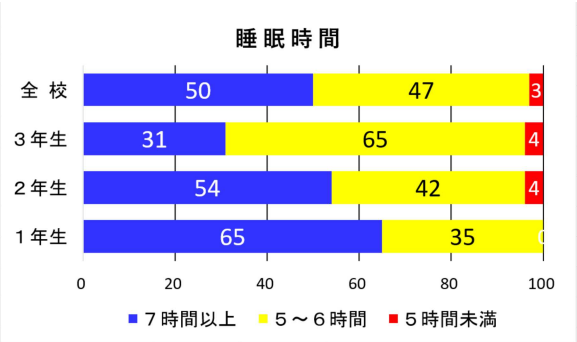
⑤運動に意欲的に取り組む生徒が７割以上

→**評価：Ａ**（92%）

⑥７時間以上睡眠をとる生徒が７割以上

→**評価：Ｃ**（50%）

学年が上がるにつれて睡眠時間が短いようです。心身の健全な発育のためには最低７時間の睡眠が必要です。



生徒アンケートの結果

22項目あるアンケートから、継続してお知らせしている内容の結果を紹介します。

アンケート項目	１学期	比	２学期
②　学校が楽しいと感じますか。	86%	＜	91%
⑦　いじめのない学校づくりに取り組んでいると思いますか。	83%	＜	91%
⑧　悪口や人を傷つける言葉を言わないよう心掛けていますか。	85%	＜	91%
⑨　友達の人権や思いやりは大切だと思いますか。	98%	＜	100%
⑪　毎日の授業はよく分かりますか。	91%	＞	86%
⑫　先生方の説明や板書、指示の出し方などは分かりやすいですか。	97%	＞	93%
㉑　毎日の睡眠時間はどのくらいですか。(数値は７時間以上の割合)	47%	＜	50%

概ね満足できる状況です。１学期と比べて肯定的評価の割合が向上している項目が多くなりました。⑪の数値は下がりましたが、２学期は２名の学習指導員により、きめ細かな指導をしてきました。

保護者アンケートの結果

アンケート回答へのご協力をいただき、ありがとうございました。集計結果は下表のとおりです。なお、回収率は84.3%でした。

アンケート項目	１学期	比	２学期
①　学校は教育方針や生徒の活動の様子を各種たより等で分かりやすく伝えている。	94%	＞	91%
②　職員は家庭との連絡を確実に行い、生徒一人一人を理解しようとしている。	82%	＞	79%
③　学校や子どもは、地域の行事に参加したり、地域に貢献する活動に取り組んだりしている。	81%	＞	80%
④　子どもは学校での様子や学習したことについて話をしている。	75%	＞	72%
⑤　子どもは進んで家庭学習に取り組んでいる。	70%	＞	69%
⑥　子どもは学習した内容を身に付けている。	70%	＞	66%
⑦　子どもは疑問に思ったことや分からないことをそのままにせず、粘り強く取り組んでいる。	57%	＜	62%
⑧　望ましい生活習慣を身に付けるよう、メディアコントロール等を家族で実行した。	57%	＜	60%
⑨　子どもは仲間を大切にして学校生活を送っている。	92%	＜	96%
⑩　子どもは毎日明るい表情で登校している。	85%	＝	85%
⑪　子どもは家の手伝いを進んでしている。	52%	＜	58%
⑫　子どもはルールを守る力や人と関わる力が育っている。	83%	＜	85%
⑬　子どもは学校の行事や部活動に積極的に参加している。	93%	＞	90%
⑭　子どもは、学校での行事や活動が楽しいと感じている。	88%	＞	85%
⑮　子どもは毎日朝食を食べている。	96%	＜	98%
⑯　子どもは心身ともにたくましく、少しのことではくじけない。	85%	＜	87%
⑰　子どもは夜11時までに就寝している。	71%	＞	66%

⑦の粘り強さが大きく向上し、⑰の11時までの就寝が５ポイント低くなりました。

今後も「学ぶ楽しさが実感できる学校」「安全・安心で居心地のよい学校」を目指して取り組んでまいります。

「オープンスクール・家庭教育学級」

１月 16 日（土）、午前中をオープンスクールとして、１時間目は各教科の授業、２時間目は全校一斉に人権教育・同和教育の副読本「生きるⅣ」を活用した道徳授業を公開しました。そして、家庭教育学級の講演会も実施しました。

【　道徳授業の概要　】

１年生は、被差別部落出身という理由で子どものころに学校に行くことができずに、文字を読んだり書いたりすることができない人の生い立ちを知りました。そして、差別をせずに人間として豊かに生きるためにはどうすればよいのか、差別を出さないために自分に何ができるかを考えました。

２年生は、お互いを理解し合えるようになった話を読み、安心、信頼できる人間関係づくりにおいて大切なことは何かを考えて発表し合う授業でした。生徒は、日頃から助け合いや相談をしたり誰にでも平等に接したりすることで信頼できるクラスにしたいなどの意見をたくさん出しました。

３年生は、部落出身ということで会社を辞めさせられた青年の話から、就職差別があることを理解しました。そして、昔の履歴書の中に差別を助長させるような項目はないか考えて、現在の履歴書を確認しました。差別の不当性と今後の自分の行動について考える授業でした。

【　家庭教育学級講演会　】

生徒も一緒に学べる機会にしたいと考え、新潟お笑い集団ＮＡＭＡＲＡの森下英矢様から「人にやさしく」をテーマにご講演していただきました。最初は構えて聞いていた生徒もユーモアある話術に引き込まれ、楽しい雰囲気の中で講演が行われました。最後の生徒からの質問に対して、中学校時代の友人は一生の仲間、３年生は学校生活が残り少ないが将来の話をしてより良い日々を過ごしてもらいたい。人前で話すことなど苦手なこともあるかもしれないが、それを「楽しい」と思うことによって少しずつ改善していける。とアドバイスしていただきました。

地域や保護者の方々からも講演会に参加していただきました。ありがとうございました。

「体育館の使用について」

１学期に比べて昼休みに体育館で体を動かす生徒がかなり増え、学校としては大変嬉しく思っています。しかし、それに伴い全校生徒が平等に体育館を使えない、他のボールが体に当たる怪我などが心配されます。その改善に向けて２つのことに取り組みます。

１　安全面に注意をして遊ぶように継続的に指導していきます。また他人にボールが当たった際にはしっかり謝ること等、当たり前のマナーを指導していきます。

２　職員が昼休みに体育館での過ごし方を見守ります。また体育館の使用について生徒アンケートを実施しました。生徒の意見を踏まえながら平等に安全に過ごせるような使用策を考えていきます。